

博物館

屋久島に多くある自然と文化の歴史の博物館は、訪問者が島の遺産のより深い理解を通して、その経験をより豊かなものにする手助けとなることを目的としています。

屋久島環境文化センター

宮之浦港の近くに位置し、上り坂のルートに沿って亜熱帯の海岸から寒冷な山地への推移を表現した展示物を並べています。展示物は、水、海、村、森、山岳信仰に関するセクションに分かれています。大型ワイドスクリーンシアターでは、島の自然環境をダイナミックに再現しています。特集映画、*屋久島 森と水のシンフォニー*は日本語で一日数回上映されています。簡単な英語の看板と英語ガイド（音声ガイドペン）があります。館中にはツーリストカウンターがあります。この施設は、原則として年末年始を除く、火曜日から日曜日まで年間を通して開館しています。シアター・展示場への入場は大人 530 円です。

屋久島環境文化研修センター

この研修センターは安房港近くにある大人と子供のための施設で、屋久島の自然環境や産業、生活に関わるセミナーや会議、その他のイベントなどを開催しています。敷地内には宿泊施設もあります。この施設は、屋久島世界遺産センターや屋久杉自然館の近くにあります。エントランスホールのラウンジに観光案内があります。

屋久島世界遺産センター

安房にあるこの施設は、1993 年に屋久島がユネスコ世界遺産に登録されたことを受けて、1996 年に環境省の職員による環境省の施設としてオープンしました。世界遺産の展示をはじめ、屋久島国立公園や島の自然環境、環境保全活動などを紹介しています。英語の情報パネルがあります。登山情報も提供されています。この施設はほぼ全日開館しており、入場は無料です。

屋久島町歴史民俗資料館

宮之浦にあるこの博物館は、縄文時代（紀元前 10,000－300 年）から現在に至るまでの、屋久島の人々が生活で使用していた木工具や工芸品、仮面、陶器などを展示しています。また、トビウオ招きや綱引き祭りなどの伝統芸能や祭りの品々も展示されています。博物館の外には、屋久杉の屋根板を作っていた古民家のレプリカがあります。江戸時代(1603－1867)の間、この屋根板は、年貢を納めたり、米や小麦、大麦などの生活必需品と交換したりするときに使われていたため、生活に欠かせないものでした。展示は日本語のみですが、希望すれば英語のラミネートガイドシートを利用できます。この博物館は月曜日、土曜日の午後、年末年始を除いて毎日開館しています。入場は、大人は 100 円、小中高生は 50 円です。

屋久杉自然館

安房にあるこの博物館は、樹齢 1,000 年以上の島の杉、屋久杉のすべてを伝えています。年輪の間隔が密になった切り株の断面は屋久杉の成長の遅さを物語っています。また、昔の手工具から現代のチェーンソーまでの伐採器具や、屋久杉の屋根板のレプリカ、ウィルソンの切り株の CG イメージ、2005 年に折れた有名な縄文杉の実物の枝（長さ 5 メートル、重さ 1.2 トン）なども展示されています。屋久杉の丸太を山から集落へ運ぶためのディーゼル機関車が外に展示されています。子ども向けの体験型展示があります。英語ガイド（トランシーバーペン）と英語の音声説明付きヘッドフォンが利用できます。